

国際科学オリンピックに 挑戦してみよう!!

スポーツにオリンピックがあるように、科学にも国際科学オリンピックという世界大会があります。日本でも第30回国際情報オリンピック日本大会(IOI2018)の開催に続き、第31回国際生物学オリンピック長崎大会に替えてリモートでの実施となったIBO Challenge 2020も行なわれました。2021年には第53回国際化学オリンピック(ICHO2021)が、2023年には国際物理オリンピック(IPhO2023)、国際数学オリンピック(IMO2023)が日本主催で開催されます。世界水準の科学に挑戦し、世界の仲間と交流する機会がぐっと身近になるこのチャンスに一步踏み出して、可能性を試してみよう。

国際科学オリンピック日本大会スケジュール



国際化学オリンピック

2021

7月25日(日)~8月2日(月)



国際物理オリンピック

2023

東京都



国際数学オリンピック

2023

千葉県
千葉市

予想外を大切に 科学する心を育てよう

日本開催が続く国際科学オリンピックの伝播を目的に、「国際科学オリンピック日本開催」シンポジウム～池上彰さんと考える日本の科学ときみの未来～が、2019年8月22日(木)、東京大学で開催されました。

冒頭、第31回国際生物学オリンピック2020長崎大会の浅島誠 組織委員長が、「世界中の生物好きな生徒と指導者が集うこの大会は、日本の生物学教育を拡充する好機」と大会開催の意義を語りました。

パネルディスカッションでは、池上彰さんをモデレーターにむかえ、京都大学iPS細胞研究所の山中伸弥教授、科学系人材の育成に力を入れるアマゾンジャパンのジャスパーチャン社長、科学オリンピックメダリストの岩間亮さん(IBO2005)と末松万宙さん(ICHO2019)がパネリストとして登壇し、それぞれの立場での体験や考えを通して「科学する心の大切さ」を伝えました。

池上さんは、「好きだから、人と違ってもいいじゃないかとやってきたことが、結果的に日本のため世界のためになる可能性があるというのは、科学の素晴らしさです。ぜひ、若い方たちには、ここにいる『科学する人たち』に続いてほしい」という言葉でディスカッションを締めくくりました。

詳細は国際科学技術コンテストHPで <https://www.jst.go.jp/cpse/contest/>



「必要は発明の母、偶然是発明の父。予想外を大切にしてください」と語る山中教授



「好きな化学に没頭した結果、今貴重な経験をしています」と池上さん(手前)に応える末松さん(左から2番目)

2021年国際化学オリンピック [Remote IChO2021]

世界の若きChemistたちが、世界水準の化学の課題に挑みます!

名称 第53回国際化学オリンピック日本大会2021(IChO2021)
日程 2021年7月25日(日)~8月2日(月)
出場参加国数 85カ国・地域



化学は、ザ・セントラルサイエンスと言われ、身の回りには化学の成果があふれています。案外その実態はわかりづらい。化学の世界で活躍し、その素晴らしさや面白さを世の中に伝える仲間となってくれる若者の出現を待ち望んでいます。

玉尾 皓平 先生

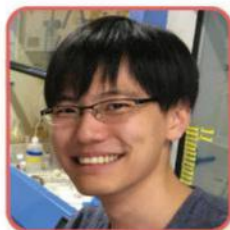
(京都大学名誉教授)
第53回国際化学オリンピック日本大会2021(IChO2021) 組織委員会 委員長

プロフィール

香川県西端の観音寺市で開業医と薬剤師の4男として、薬瓶の棚に囲まれて育つ。京都大学工学部合成化学科の第2期生。1972年、世界で初めてとなるクロスカップリング反応~有機化合物の骨格である炭素-炭素結合を効率的につなぐ反応~を開発。後にノーベル化学賞を受賞した鈴木-宮浦カップリング等の先駆けとなる。「化学研究のワクワク感と成果を子どもたちに伝えたい」と、日本で2度目となる国際化学オリンピックの開催と、「一家に1枚周期表」プロジェクトを牽引。



先輩から (京都で感じる化学の風@京都大学 2019年10月19日から)



齊藤 颯 氏
第42・43回
国際化学
オリンピックで
金・銀のメダルを獲得
京都大学博士
後期課程

高1で、「化学なら世界を変えられる」と理系に志望変更。そのきっかけとなった教授の研究室で、有機分子の新しい合成手法の探求を続け、現在は、頑丈さと高い反応性を兼ね備えた新しい有機ケイ素化合物の設計と合成、その応用を追求中。「化学オリンピック出場を通じた国内外での様々な経験が、化学への姿勢の礎となり、そこで出会った人達との繋がりも今の土台となっています。」

専門分野は、分子の形・色・動きに注目する構造有機化学を基盤とした機能材料化学。国際大会では実験部門トップの成績を獲得。「実験課題は案外身近な素材から出題されます。実験に限らず、興味のあることを自分で調べて実践した経験は今の研究生活に役立っているので、皆さんも是非挑戦してみてください。」

山角 拓也 氏

第44回
国際化学オリンピック
金メダリスト
京都大学博士後期課程

